

製品安全データシート

作成日：2023年01月12日

1. 化学物質等及び会社情報

1-1) 化学物質等の名称

製品名：カネパスエコ（販売名：カネパスライトA）

1-2) 会社情報

会社名：兼一薬品工業株式会社

住所：〒555-0033 大阪府大阪市西淀川区姫島3丁目5番23号

担当部門：医薬情報室

電話番号：06-6471-3548

FAX番号：06-6471-5659

連絡先：兼一薬品工業株式会社 医薬情報室

1-3) 推奨用及び使用上の制限

外皮消毒剤（医薬部外品（新指定医薬部外品））

2. 危険有害性の要約

2-1) GHS分類区分

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
	自然発火性液体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感受性又は皮膚感受性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性、麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（肝臓）
		区分2（中枢神経系）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（長期間）	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外

2-2) GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気またはめまいのおそれ

長期にわたる、または反復暴露による肝臓の障害

長期にわたる、または反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き：

安全対策 この安全データシートをよく読み、すべての安全に関する注意事項を理解するまで取扱わないこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること（禁煙）

容器を密閉しておくこと

容器を接地すること／アースをとること

防爆型の電気製品、換気装置、照明機器を使用すること

火花を発生させない工具を使用すること

静電気放電に対する予防措置を講ずること

ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入をしないこと

取り扱い後は手をよく洗うこと

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

屋外又は換気のよい区域でのみ使用すること

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること

応急措置

皮膚（または髪に）付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

火災の場合：消火のために大量の水噴霧、またはアルコール用の消火器を使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物、容器は法に沿った処理をすること。

3. 組成及び成分情報

3-1) 単一物質・混合物の区別 : 混合物

3-2) 成分情報 (100mL 中)

化学名又は一般名	化学式	分子量	CAS.No.	官報公示整理番号 (EINECS No.)	濃度
ベンザルコニウム 塩化物	$C_{17}H_{30}ClN$ ~ $C_{27}H_{50}ClN$	283.88 ~424.15	8001-54-5	化審法(3)-2694	0.05 w/v%
エタノール	C_2H_6O	46.07	64-17-5	化審法(2)-202 (200-578-6)	57 vol%
グリセリン	$C_3H_5(OH)_3$	92.09	56-81-5	化審法(2)-242 (200-289-5)	0.8 w/v%
アラントイン	$C_4H_6N_4O_3$	158.12	97-59-6	化審法(9)-199 (202-592-8)	0.04 w/v%
精製水	H_2O	18.02	7732-18-5	化審法 未設定 (231-791-2)	適量

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませ希釈し、可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。ただし、意識がない場合は、口から何も与えてはならない。また、吐かせようとしてはならない。直ちに医師の手当を受ける。
- 急性症状及び遅発性 : 吸入 : 咳、頭痛、疲労感、嗜眠
 症状の最も重要な
 徴候症状 皮膚 : 皮膚の乾燥
 眼 : 発赤、痛み、灼熱感
 経口摂取 : 灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、泡（耐アルコール泡）、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 消火方法 : 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
大規模火災には、泡（耐アルコール泡）消火剤を用いて空気を遮断する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : ・関係者以外の立入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 : ・高濃度の蒸気にさらされないように保護眼鏡、防毒マスク、ホースマスク等適当な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
・大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化 : ・少量の場合には、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。
の方法・機材 : ・大量の場合には、漏出液を密閉式の空容器に出来るだけ回収し、回収できなかった場所を大量の水で洗い流す。
- 二次災害の防止策 : ・浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

7-1) 取扱い

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、換気に注意する。
- 安全取扱い注意事項 : 「10. 安定性及び反応性」を参照
- ・みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させ若しくは注ぎ、蒸発させ、又は加熱しないこと。
 - ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
 - ・取扱い及び保管施設の電気設備は全て防爆構造とし、アルコール流動その他によって静電気を発生させる恐れのある場所にはこれを有効に除去する装置を設けること。
 - ・取扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かない。
- 接触回避 : 炎、火花または高温体との接触を避ける。

7-2) 保管

適切な保管条件 : ・保管は通風をよくし蒸気が滞留しないようにする。また、火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし、温度、湿度、遮光に注意し、保管する。

安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

8-1) 管理濃度、許容濃度

成分	CAS No.	ACGIH-TWA
ベンザルコニウム塩化物	8001-54-5	設定されていない
エタノール	64-17-5	1000 ppm
グリセリン	56-81-5	10 mg/m ³
アラントイン	97-59-6	設定されていない

8-2) 設備対策 : 装置の気密が重要である。取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。

8-3) 保護具 : 通常はゴム手袋、ゴム前掛、安全靴を着用する。高濃度の場所では、ゴム手袋、ゴム前掛、安全靴、保護眼鏡、防毒マスクを着用する。

8-4) 作業衣 : 帯電防止衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

9-1) 製剤の物理的及び化学的性質

外 観 : 無色澄明の液
臭 い : 特異なにおい
比 重 : d_{20}^{20} 0.91~0.94

9-2) 成分の物理的及び化学的性質

成分 項目	ベンザルコニウム塩化物	エタノール	グリセリン	アラントイン
物理的状态	液体	液体	粘性のある液体	固体
色	無色澄明	無色澄明	無色澄明	白色
におい	特異臭	特異な芳香	無臭	無臭
pH	8.3 (20% 溶液)	該当せず	該当せず	4.5 ~ 6.0 (20°C)
融点	該当せず	-114.5°C	18.2°C	230°C
沸点	データなし	78.32°C	290°C	データなし
引火点	可燃性でない	13°C	195°C	データなし
発火点	該当せず	439°C	370°C	データなし
蒸気圧	データなし	5.878 kPa	データなし	データなし
蒸気密度	データなし	1.59	データなし	データなし
密度	0.98 g/cm ³ (25°C)	0.78493 g/cm ³ (25°C)	1.26 g/cm ³ (4/20°C)	ca. 1.7 g/cm ³ (20°C)

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の取扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。
- 危害有害反応可能性 : 硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
- 避けるべき条件 : 高温への暴露
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

11-1) 製剤の有害性情報はない。

11-2) 成分の有害性情報

①急性毒性（成分100%として）：

(①-1) ベンザルコニウム塩化物

- | | | |
|-----|-----|------------------------------|
| ・経口 | ラット | LD ₅₀ 240 mg/kg |
| ・経口 | マウス | LD ₅₀ 175 mg/kg |
| ・経皮 | ラット | LD ₅₀ 1,560 mg/kg |

(①-2) エタノール

- | | | | |
|-----|---------|---------------------------------|------------|
| ・経口 | ヒト | LDL ₀ 1,400 mg/kg | 行動、胃腸（吐気） |
| ・経口 | ラット | LD ₅₀ 7,060 mg/kg | 呼吸器系 |
| ・吸入 | ラット | LC ₅₀ 20,000 ppm/10h | 毒性未評価 |
| ・経口 | ヒト（男）ヒト | LDL ₀ 700 mg/kg | 行動（精神生理学上） |
| ・注射 | ラット | LD ₅₀ 1,440 mg/kg | 呼吸器系 |
| ・注射 | 犬 | LDL ₀ 1,600 mg/kg | 運動失調、呼吸器系 |
| ・腹腔 | 哺乳類 | LD ₅₀ 4,300 mg/kg | 運動失調 |

(①-3) グリセリン

- | | | |
|-----|-----|-------------------------------|
| ・経口 | ラット | LD ₅₀ 12,600 mg/kg |
|-----|-----|-------------------------------|

(①-4) アラントイン

- | | | |
|-----|-----|--------------------------------|
| ・経口 | ラット | LD ₅₀ > 5,000 mg/kg |
|-----|-----|--------------------------------|

②変異原性（成分100%として）：

(②-1) ベンザルコニウム塩化物

データなし

(②-2) エタノール

小核 マウス（腹腔） 1,240 mg/kg・48h

(②-3) グリセリン

データなし

(②-4) アラントイン

データなし

③皮膚腐食性・刺激性（成分 100%として）：

(③-1) ベンザルコニウム塩化物

- ・高濃度で強い刺激性がある。
- ・希釈水溶液では皮膚を侵さない。
- ・皮膚 ラビット 50 mg/24h 症状（中度）

(③-2) エタノール

- ・皮膚 ラビット 400 mg 開放 症状（軽度）
- ・皮膚 ラビット 500 mg/24h 症状（重度）

(③-3) グリセリン

- ・皮膚 ラビット 500 mg/24h 症状（軽度）
- ・わずかな皮膚刺激

(③-4) アラントイン

- ・皮膚 ラビット 非刺激性

④眼に対する重篤な損傷・眼刺激性（成分 100%として）：

(④-1) ベンザルコニウム塩化物

- ・目 ラビット 1 mg/24h 症状（重度）
- ・目 ヒト 150 μ g/24h 症状（中度）

(④-2) エタノール

- ・OECD TG405 及び Draize 試験に従った試験により「moderate」と分類されている。
- ・ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は1～2日間で回復する。
- ・ラビット 100 mg/24h 症状（中度）

(④-3) グリセリン

- ・目 ラビット 126 mg/24h 症状（軽度）

(④-4) アラントイン

データなし

⑤生殖細胞変異原性（成分 100%として）：

(⑤-1) ベンザルコニウム塩化物

データなし

(⑤-2) エタノール

- ・ラット及びマウスにおける優勢致死の報告及びマウス生殖細胞における異数性誘発報告がある。

(⑤-3) グリセリン

データなし

(⑤-4) アラントイン

エイムス試験：陰性

⑥生殖毒性（成分 100%として）：

⑥-1）ベンザルコニウム塩化物

データなし

⑥-2）エタノール

・アルコールの習慣的な大量摂取により、ヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。

・吸入 ラット TCL₀ 20,000 ppm/7h、妊娠、1～22日 発育異常

・経口 ラット TDL₀ 44 g/kg、妊娠、7～17日 発育異常

⑥-3）グリセリン

・ラットの経口投与による2世代試験で、親動物の性機能および生殖能への影響、そして生後の仔の発生指標への影響は認められていない。

・ウサギ、ラットおよびマウスの仔の器官形成期を含む期間に経口投与した試験で催奇形性も認められていない。

⑥-4）アラントイン

データなし

⑦特定標的臓器・全身毒性（単回暴露、成分 100%として）：

⑦-1）ベンザルコニウム塩化物

データなし

⑦-2）エタノール

・ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合は死に至ることがある。

・ヒトで 5,000ppm (9.4 mg/L) の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。

⑦-3）グリセリン

データなし

⑦-4）アラントイン

データなし

⑧特定標的臓器・全身毒性（反復暴露、成分 100%として）：

⑧-1）ベンザルコニウム塩化物

データなし

⑧-2）エタノール

・ヒトでアルコールの長期大量摂取により、ほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。

・アルコール中毒患者の禁断症状（振戦症状、てんかん、精神錯乱）

⑧-3）グリセリン

重大な毒性影響はない。

(8-4) アラントイン

データなし

12. 環境影響情報

12-1) 製剤の環境影響情報はない。

12-2) 成分の環境影響情報：

(1) 分解性

項目 \ 成分	ベンザルコニウム塩化物	エタノール	グリセリン	アラントイン
理論酸素要求量 (ThOD)	-	2.10	-	-
BOD	7.2 g/L (BOD ₅)	理論酸素要求量の 44~80% (BOD ₅)	63%	63.8 mg/g (5 d)
COD	-	90 to 100%ThOD	-	240 mg/g
バクテリア硝化能の抑制	-	4100mg/L でニトロソモナス種のアンモニア酸化の 50%抑制	-	-

(2) 生態毒性

項目 \ 成分	ベンザルコニウム塩化物	エタノール	グリセリン	アラントイン
金魚	-	-	>5 g/L/24 hrs (LC ₅₀)	-
マスの幼魚	-	11.2 g/L/24 hrs (LC ₅₀)	-	-
コイの一種	-	18 to 13.4 g/L/96 hrs (LC ₅₀)	-	-
クレークチャブ	-	7 g/L/24 hrs (LC ₅₀)	-	-
グッピー	-	11 g/L/7 days (LC ₅₀)	-	-
ヒメダカ	9.21 mg/L/48 hours (LC ₅₀)	-	-	-
ゼブラフィッシュ	-	-	-	>5000 mg/L (LC ₅₀)

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 :
- ・ 燃焼炉の火室へ噴霧し、焼却する。
 - ・ 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 - ・ 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 - ・ 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 汚染容器・包装 :
- ・ 関係法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 - ・ 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

14-1) 国際規制

国連分類 : クラス3 (引火性液体)
国連番号 : 1170
品名 : エタノール又はその溶液
容器等級 : II

14-2) 国内規制

消防法 : 該当しない
航空法 : 規則第194条 3 引火性液体 (引火点 60°C以下)
航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示 別表1 輸送許容物件
港則法 : 規則第12条 危険物告示 別表2号 ホ
危険物船舶運送及び
貯蔵規則 : 第2条第1号 ハ (1) 引火性液体
船舶による危険物の運送
基準等を定める告示 : 第2条第3号 別表第1 引火性液体類
海洋汚染等及び海上災害の
防止に関する法律 : 施行令 別表第1 3号 イ 20 Z類物質
緊急時応急措置指針番号 : 127 (移送時にイエローカードの保持が必要)
特別の安全対策 :
・包装が損害を受けないように、濡れを防止し、煩雑な取扱いはしないこと。
・輸送前に包装に破損が無いか、良く密封できているかを検査する。
・輸送過程において、包装に破損が無く、貨物が落ちないように確保する。
・不溶物質との共同輸送を禁止する。

15. 適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 (薬機法)
消防法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 施行令 別表第1 危険物 4 引火性の物
施行令 別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物 61
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
化学物質排出把握管理推進法 (PRTR法)

16. その他の情報

引用文献

:

- 1) 財団法人バイオインダストリー協会：アルコールハンドブック第9版（1997）
- 2) 消毒剤の使用指針、第3版、p.100、薬事日報社（1999）
- 3) 社団法人日本化学会編：化学便覧（改訂4版）、丸善（1993）
- 4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、新しい知見及び試験等により改訂されることがあります。また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願いします。